

【峡南半農半×だより】 第2号

ー安全に農作業をするためにー

令和7年10月10日
山梨県峡南農務事務所

近年、65歳以上の高齢者を中心に農作業中の死亡事故が増加していますが、農作業は様々な危険と隣り合わせで、いつ事故が起きてもおかしくありません。

そのため、ちょっとした不注意や油断が、事故を引き起こす原因となります。今回は、農作業時の安全対策について考えてみましょう。

【農作業に潜む危険】

- 農作業には、デスクワークや室内作業とは違い、多くの危険が潜んでいます。
普段から、作業には危険が伴うことを意識しておきましょう。
- 機械や器具を使う場合、十分に注意しないと危険な箇所に接触して、ケガをすることがあります。常に、安全確認を怠らず、身の回りの作業環境を整えておきましょう。
- 猛暑や作業疲れによる体調不良や注意不足も、怪我や事故等につながります。
十分な休息とこまめな水分補給を心がけましょう。

【小型耕運機の注意点】

○圧倒的に多いバック時の事故（図①）

→ 後ろの立木や構造物に注意して、作業を行います。

バック時、立木・建物（ハウス）に
押しつけられて



バック時、足がつまずいて



耕耘機のバックは、必ず振り返って後方確認を！

（図①）バック時の注意点

○固い土・石等によるダッシング※¹ やキックバック※²

- 無理に深く耕うんせず、浅く数回に分けて耕すようにします。
- ロータリーと足の位置は、常に余裕を持って作業します。

※¹：ダッシングとは、土が固い場所で、ロータリー爪が刺さらず、機体が急に前方へ押し出されること。

※²：キックバックとは、回転している刃が地中の硬い障害物に衝突することで、反動が本体に戻り、その勢いで機体が跳ね返されること。

【刈り払い機の注意点】

- 傾斜面や法面での不安定な姿勢による事故
→ 斜面は下から一定の幅で横に刈っていき、徐々に登っていきます。また、滑らないよう足下にも注意します。
- 回転刃の事故（接触、飛散物）（図②）
→ キックバックや小石、チップの飛散を防ぐための防具着用を徹底します。
- 事前の環境確認で防ぐ事ができた事故（図③）
→ 草むらの中に、構造物や異物が潜んでいないか、事前に確認します。
- エンジンを止めずに起こった事故（図④）
→ 草の詰まりなどを除く際には、確実にエンジンを切ってから行います。



（図②）防具の徹底



（図③）事前の環境確認



（図④）作業中断時はエンジン停止

【脚立の注意点】

- 設置時の転倒事故
→ 最下段に乗って、体全体で脚立の脚を踏み込みます。
- 作業中の転倒事故
→ 天板に乗らない、開脚防止チェーンをかけます。
- 作業中の落下事故（図⑤）
→ 作業箇所が少しでも離れたら、身を乗り出さず、こまめに脚立を移動して、間近で作業できるようにします。



（図⑤）脚立から身を乗り出さない

〈出典〉図①～⑤：農林水産省 農作業安全の啓発資料（SERIES）

【結びに】

山梨県では、農業者の安全意識の向上を図るため、農繁期を迎えた6月と農作物の収穫期に当たる10月を「農作業安全推進月間」と位置づけ、関係機関とともに啓発活動などに重点的に取り組んでいます。

農作業事故は、農業用機械の使用、高所作業中に多く発生しています。機械操作の注意に加え、日頃からほ場の環境整備にも心がけていただき、皆さまが安全に作業できますことを願っております。

問い合わせ先 山梨県峡南農務事務所（峡南地域普及センター）
農業農村支援課担い手育成担当
住所：市川三郷町高田111-1
電話番号：055-240-4116